



つもいっこ

令和3年6月11日
第5号
益城町立津森小学校

伍三郎農園で全校児童ジャガイモ収穫

6月7日(月)に、全校児童が伍三郎農園でジャガイモの収穫を行いました。当初3日(木)に予定していましたが雨天のため、延期して実施したものです。当日は早朝からPTA整備部の方を中心に準備をしていただき、保育園生も含め全児童が楽しく収穫をすることができました。昨年に比べて、大きいジャガイモが多かったような印象です。ご家庭ではもう食卓に上ったでしょうか。



さて、ジャガイモやサツマイモ、大根、大豆など、多くの作物を収穫できるのは津森小学校の特色の一つです。これらの作物を収穫できるのも、伍三郎農園という立派な畑があるからですが、伍三郎農園という名前の由来はご存じでしょうか。伍三郎農園は、旧津森村の村長だった永田伍三郎氏の二男、永田敬生氏(元日立造船社長)が、津森小学近くの土地を町を通じて学校に農園として寄贈されたものです。永田敬生氏の他に数名の方のご厚意を原資に平成8年2月に開園しました。以降四半世紀にわたり、津森小学校の子どもたちの栽培・農園活動で活用中です。今後の学校の財産として大切にしていきたいと思えます。

◆暑さ本番。プールの授業も始まりました!◆

今週に入り暑さの厳しい日が続きました。気温が30℃を超えると熱中症の危険度が高まりますが、その危険度の判断材料として本校でも暑さ指数(WBGT)を利用しています。指数2.8以上が嚴重警戒レベルで激しい運動禁止、3.1以上になると危険レベルで屋外活動禁止としています。昼休みなどの休み時間は、子どもたちにとって体を動かして遊ぶことのできる有意義な時間ですが、指数が高いときは放送で注意喚起や外遊びの中止を呼びかけています。一方で、暑くなるこの時期の子どもたちの楽しみは、プールの授業です。今週からプールの授業が始まりました。コロナ禍なので歓声は控えめですが、プール内には子どもたちの笑顔が溢れています。プールの授業ではかなり体力を使いますので、授業があった日は、家庭では十分な休養をとらせてあげるようにしてください。



いざという時に備えて、引き渡し訓練

本日実施した引き渡し訓練。大きな災害があった後、又は、発生が予想される際、学校から安全に、そして、確実に保護者に子どもを引き渡すための訓練です。想定としては、第一に大雨による水害が考えられます。学校も川のそばで安全というわけではありませんが、急激な増水で川が氾濫するような時には、校舎2階への垂直避難を行うことにしています。今回の訓練は、地区ごとに確実に保護者に引き渡すことを第一に考えて実施しました。実際の災害時には訓練と違う状況が多々生じるとは思いますが、今回の訓練の反省を生かして対応することができればと考えています。